上松技術専門校電灯設備改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称
	表紙・図面リスト
E-01	電気設備 特記仕様書
E-02	案内図、配置図
E-03	照明器具姿図(1)【改修後】
E-04	照明器具姿図(2)【改修後】
E-05	照明器具姿図(3)【改修後】
E-06	(管理棟)電灯設備 1階平面図【改修前・改修後】
E-07	(管理棟)電灯設備 2階平面図【改修前・改修後】
E-08	(寄宿舎)電灯設備 1階平面図【改修前・改修後】
E-09	(寄宿舎)電灯設備 2階平面図【改修前・改修後】
E-10	(寄宿舎)電灯設備 3階平面図【改修前・改修後】
E-11	(付属棟・車庫棟)電灯設備 平面図【改修前・改修後】
E-12	(実習棟)電灯設備 平面図【改修前・改修後】
E-13	(体育館)電灯設備 平面図【改修前・改修後】
E-14	仮設計画図(1)
E-15	仮設計画図(2)

上松技術専門校電灯設備改修工事

| 工事概要

長野県木曽郡上松町大字小川

2 建物概要

建 物 名 称	構造	階 数	延 面 積 (m)	消防法施行令 別表第一の区分	備考
管理棟	RC	地上2階	984.97	(7)項	
寄宿舍	RC	地上3階	769.88	(5)項口	
付属棟	s	地上1階	110.52	()項	
実習棟	s	地上1階	1458.45	(7)項	
体育館	s	地上1階	666.85	(7)項	
車庫棟	s	地上1階	51.30	(13)項イ	

3 工事種目 (〇印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外										
上手性日	項目	管理棟	寄宿舎	付属棟	実習棟	体育館	車庫棟					
電灯設備		〇一式	〇一式	〇一式	〇一式	〇一式	〇一式					
動力設備	幹線、分岐											
電熱設備												
雷保護設備												
受変電設備												
電力貯蔵設備												
静止形電源設備	直流電源装置											
発電設備												
構內情報通信網設備	LAN用配管											
構内交換設備	電話設備											
情報表示設備	時計設備											
映像・音響設備												
拡声設備												
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備											
テレビ共同受信設備												
監視カメラ設備												
駐車場管制設備												
防犯・入退室管理設備	インターホン・トイレ呼出し設備											
自動火災報知設備												
自動閉鎖設備												
非常警報設備	非常放送装置											
ガス漏れ警報設備												
中央監視制御設備												
構内配電線路												
構內通信線路												
昇降機設備												
撤去一式		〇一式	〇一式	〇一式	〇一式	〇一式	〇一式					

Ⅱ 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
株式会社 三友ファシリティーズデザイン	野坂 英史
主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
株式会社 三友ファシリティーズデザイン 夏目 博範	
構造担当	
·	
電気設備担当	
株式会社 三友ファシリティーズデザイン 須田 潔	株式会社 三友ファシリティーズデザイン 波多腰 永寿

Ⅲ 工事仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準 仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準 仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工 事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用 する。

2 特記仕様

	様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。 の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、〇印の	付いたものを適用する。
項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
2)機材の品質・性能証明	ただし、これらと向寺がものとする場合は、監督戦員の系統を受ける。 下表に示す材料・機材等(〇印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たす
J	ものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたこと
	を示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。
	材料・機材名 材料・機材名
	□ 照明器具 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	○ (社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材
	1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
	3) 安定的な供給が可能であること。
	4) 法冷等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
	6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
③ 化学物質を発散する	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する
建築材料等	ものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
	(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを
	放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて
	少ないものとする。
	(3)接着剤はフタル酸ジー n - ブチル及びフタル酸ジー 2 - エチルヘキシルを含有しない難
	揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを
	放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを放散しないか、放散が
	極めて少ないものとする。
	(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他
	の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデ
	ヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外の ものを使用するものとする。
	ものとは用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
	また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該当する建築材料
	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
	③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	規制対象外 b 接着到等不使用
	c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	させない材料使用
	d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
	***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
	第 三 種 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのE〇規格品
	④ 旧 JASの F 〇〇規格品
↑ * - * * # = - + = -	ハナ沖修・宇宙・修士等の研究(乳性・宇宙)の「熱なそにつか」
4)施工条件明示項目5)電気保安技術者	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」 工事現場の電気工作物(電路、自動屏、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務
9	を行うものとする。
⑥ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑦ 実施工程表及び	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
施工計画書	(2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は
8) 使用材料発注先調書	監督職員の承諾を受けること。 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
9) 発生材の処理	使用材料も、製造来自名、完注元号を記載した調音を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ○ 無 ・有 ()
932111112	(2) 引渡しを要するもの以外 〇構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。
	(3) 特別 管理産業廃棄物 ・有 (PO8使用機器:関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)
	(4) 再利用又は再資源化を図るもの
3	・無 〇 有(○ 廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)
10)監督員事務所	
① 工事用仮設物	・備品() すべて請負者の負担とする。
·	9へ C調貝側の見担とする。 構内に作ることが ⊙ できる ・できない
[2] 足場・さん橋類	
~-∞ C/V1≋#	ひ が美利の関係制具有が定置したものは、無限で使用できる。 ・本工事で設置する。
	· 内部仮設足場等 (· 架台足場 · 移動式足場 · 移動式室内足場)
	・外部足場
	(・A種 [施工箇所面に枠組足場を設ける。] ・B種 [施工箇所面に単管本足場を設ける。] ・C種 [仮設ゴンドラを使用する。] ・D種 [移動式足場を使用する。])
(3) 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に

1. 人】 言又 `	備改修工事									
項目	特記事項									
① 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。									
① しゅんエ時提出物	標準仕様書及び別表による。									
16 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。									
	ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。									
耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版 : 監修(独)建:									
	研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受け									
	ものとする。									
	(1)設計用水平地震力									
	機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。									
	なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。									
	設計用標準水平地震度 特定の施設 〇 一般の施設									
	設直場所 機器種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器									
	上層階、 機 器 2.0 1.5 1.5 1.0 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5									
	屋上及び塔屋 水槽類 (※1) 2.0 1.5 1.5 1.0									
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0									
	水槽類 (※1) 1.5 1.0 1.0 0.6									
	機 器 1.0 0.6 0.6 0.4									
	地下・1 階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 (※1) 1.5 1.0 1.0 0.6									
	(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。									
	②重要機器の定義は次による。									
	・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機									
	・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・変圧器 ・リアクトルコンデンサ									
	◎上層階の定義は次による。									
	2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、									
	10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。									
	(2) 設計用鉛直地震力									
	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。									
) あと施エアンカー										
りのと他エアンカー	公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 8章2節8.2.4及び12節による。 建設試験は、・性能超級試験(3 x) を施設試験(3 x) を施設法所									
	確認試験は、・性能確認試験(本)・施工後確認試験(3本)を確認強度 kNにて行う。									
9 防火区画等の	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、									
貫通処理	貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。									
) 電線・ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイシガイセン EM-EEF」と									
	表記されたものを使用する。 (2) EM-UTPは JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに									
21 予備配管	JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器 4 個以下の場合は (25)を 1 本									
. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	5 個以上の場合は(25)を2 本、天井まで立上げる。									
2 呼び線	長さ 1 m以上の入線しない電線管には、 1.2 mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。									
3 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。									
	・屋 外(溶融亜鉛メッキ仕上げは除く) ・屋 内									
4 埋め戻し土	・A種 [山砂の類:水締め、機器による締固め]									
	・A標 [山杪の類: 水締め、機器による締固の] ・B種 [根切り土の中の良質土: 機器による締固め]									
	・C種 [他現場の建設発生土の中の良質土:機器による締固め]									
	・D種 [再生コンクリート砂:水締め、機器による締固め]									
C 24 GD RV # 1 40 MI TIE	・配管下部は50mm以上、上部は100mm以上砂を用いて締め固めること。									
5 建設発生土の処理 6 ケーブル埋設票	・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製									
· / //	(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。									
	(3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは 2 条以上敷設する									
?7 プルボックス	(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。									
	(2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。									
7 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ◯金属製 ・樹脂製									
9 プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示									
	した略標をつける。									
1) 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。									
	壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を									
	使用して良い。また (2P15A) 以外はすべてキャップ付とする。									
31 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。									
2)照度測定	 预定場所: ○ 各室(測定箇所数5箇所) ・ 廊下 ・ 階段 用 途: ○ 非常用照明 ○ 一般照明 									
	学校施設における室内照度測定(測定教室: 6個所、 測定黒板面: 6個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する									
3 盤類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を									
∨ 重規	(I) 分電盤寺の図曲ホルターに、単線結線図・絶線抵抗測定表・接地抵抗測定表を 収納する。									
	*X 种 9 る。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。									
34 グリーン購入の推進	(2) 埼丁澄には、緑谷衣・稲森衣を調え刊りる。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目									
M ILA										
	<建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器									
5 他工事又は他工種	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する									

(別表) しゅん工時提出物 (・に〇印のついたものを提出する。)

個別提出物		一括提出物
1 完成図	5	機器完成図
• 原図(A 1 版 ケース入り)	6	工事写真
	7	完成写真
CADデータ (jww及びpdf形式)	8	工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書)
•	9	機材の試験成績書
2 設計図	10	施工の試験成績書
O CAD データ	11	社内試験成績書
	12	発生材処理報告書
3 引渡書		(廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書
4 納入品		の写し、マニフェストの写し、フロー図)
● 予備品 ・ 盤類の鍵	13	納入品一覧表
・ ハンドホールフック、ジャッキ	14	官公署手続、検査書 (管理者用正本、写し)
	15	保全に関する資料(取扱い説明書も含む)
	ĺ	

3 ハンドホール

下表による。(様子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。) ブロックハンドホール ・コンクリート相互間などは、エボキシ系樹脂接着剤により接着する。 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。 ・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。 ・配管資産部は、原則として根巻きンツト・【FEIRMENDL】とし、差し筋D10タテヨコ @200で補強する。 ・補強方法については、あらかじめ整督員にハドホー級件図を提出して承諾を受けて施工する。

ハンドホール No	1、500×1、500×1、500D 底部 GL-1、740以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入) (アルミ様子付)
ハンドホール No	1、200×1、200×1、500D 底部 GL-1、700以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入) (アルミ様子付)
ハンドホール No.1	1、000×1、000×1、400D 底部 GL (600以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入) (アルミ様子付)
ハンドホール No	1、000×1、000×1、100D 施部 GL-1、300以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入) (アルミ棒子付)
ハンドホール No	1、000×1、000× 900D 底部 GL-1、060以上 蓋 WPM-60A (アルミ棒子付)
ハンドホール No	900× 900×1、100D 底部 GL-1、260以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入) (アルミ棒子付)
ハンドホール No	900× 900× 900D 底部 GL-1、060以上 重 WPM-60A (Eマーク入) (既製足場付)
ハンドホール No.	600× 600× 680D 菱 WPM-60A (Eマーク入) (既製足場付)
ンドホール No	450× 450× 680D ※植裁帯等車両の通行の恐れがない場所、 蓋 WPM-45B (Eマーク入) 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

	A 種接地	銅板1.5 t × 9 0 0 × 9 0 0 補助接地棒(連結式1 0 ∮ × 1、5 0 0) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2 m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	B種接地	銅板1.5 t × 6 0 0 × 6 0 0 補助接地接√進稿式1 0 ∮ × 1、5 0 0) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2 ∞ 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	C種接地	銅板 1. 5 t × 3.0 で × 3 0 0 補助接地棒(連結式 1 0 ゆ × 1、5 0 0) リード端子行 堀削埋戻中心深さ 1. 5 m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	D種接地	接地棒(100×1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測点	取付高(mm)		名	称	測	点	取付高(mm)		
共通	取引用計器引込開閉器警報盤	地上~上端 床上~上端 床上~中心	1, 800 1, 500 1, 500	時計・拡声	壁掛形親時 子時計 壁掛形スピ アッテネー	 カ	床上	~中心 " "	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300		
電	タンブラスイッチ " (身障者用) コンセント(和般) " (便所等) " (台上) ブラケット(一般場)	"" "" 台上~中心 床上~中心	(上端1,900以下) 1,300 1,100 300 150 500 150 2,100 2,500	表示	表壁ペプ押パ降の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の			~中心 " " " "	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000 1,800		
灯	// (鏡上) 避難口誘導灯 廊下通路誘導灯	鏡端~中心 床上~下端 床上~上端		インタ	壁付インタ ッ (身間 壁付位置ボ	常者用)	床上	~中心	1,500 1,100		
動	壁掛形制御盤手元開閉器	床上~中心	(上端1,900以下) 1,500	ーホン	(壁付インターホンを除く) (型付インターホンを除く) (一般) (和室)		" (一般)			"	300 150
カ	操作スイッチ ・ 押ボタン	"	1, 300	テレビ	機器収容箱アウトレッ		床上	~中心	(天井高)×0.9		
電	室内端子盤 (廊下・室内) 中間端子盤	床上~下端	300 1,500	共同受信		(一般) (和室)		"	300 150		
話	(EPS・電気室) 集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般) " (和室)	11 11	(天井高)×0.9 300 150	火災報知	受信機 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般			>操作部 " ~中心 ""	800~1,500 800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8		

6 定期報告

工事しゅん工後3ヵ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。

● 長野県上松技術専門校

	13) 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に 要する費用は請負者の負担とする。				6 定	!期報	告				月に点検をして、その結果: を含め、調査には必ず管理		
5	- 特 -		打正 1. 2. 3. 数	計者 6 名 計者	第272762号 野坂 英史	1級建築管理建築	生事務所 生士 1級到	登録(松本 主築士登録	本) B 第 8	81291 号 44号 須田	0263 (88) 7348	上松	支術専門校電灯電気製備 特調	
	- 5E		 4. 氏 5. 額 6. 兵 7.	€ 名 ♦ 計者 € 名					1	担当者	設計完了日 2025.3	^{施尺} A1: N/S A3: N/S		(B) (E 1 水 自 (R) (E 1 水 自

保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。

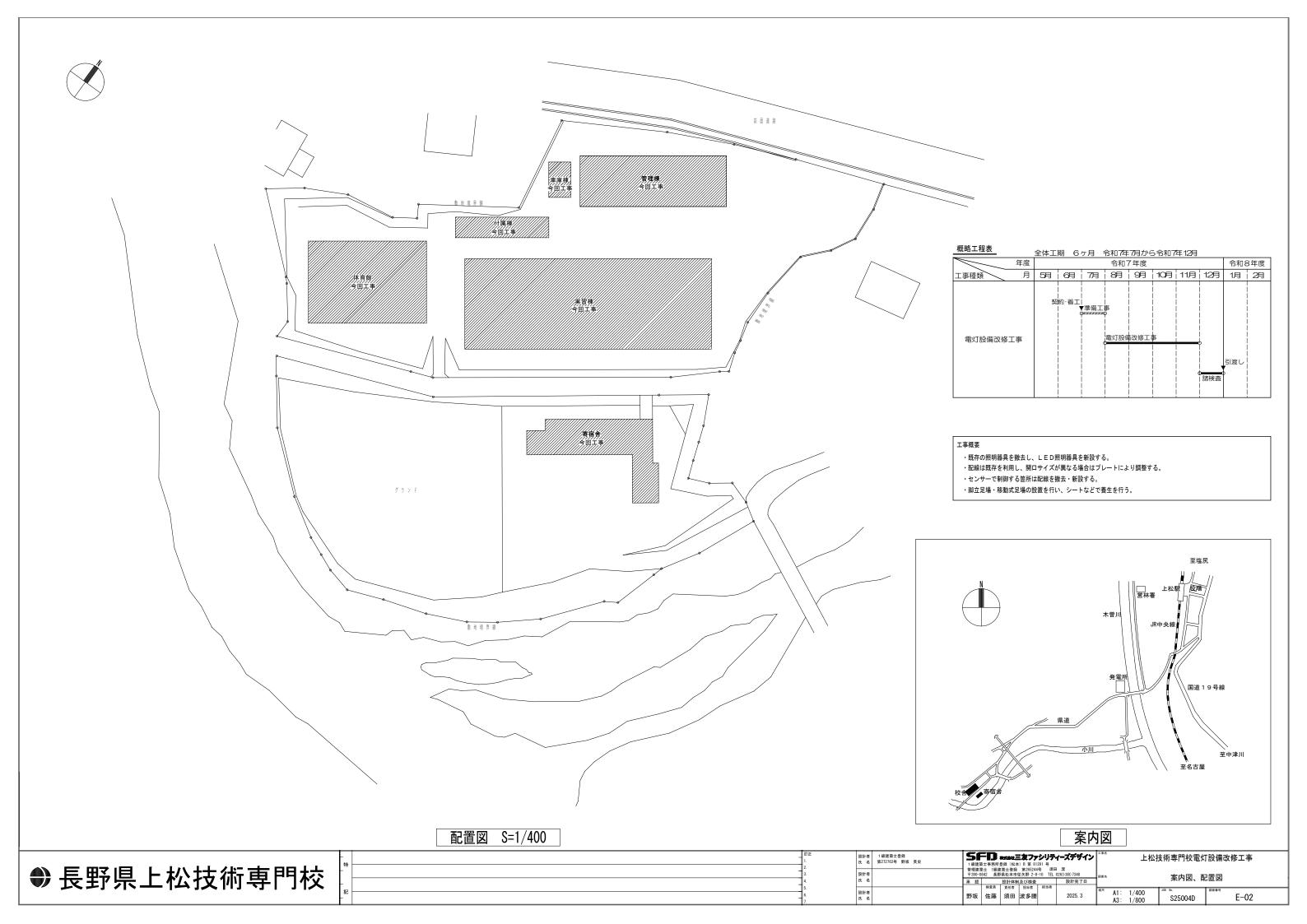
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件
① 安注者は、グリーンボンドに係るLED照明更新による削減電力量報告書作成

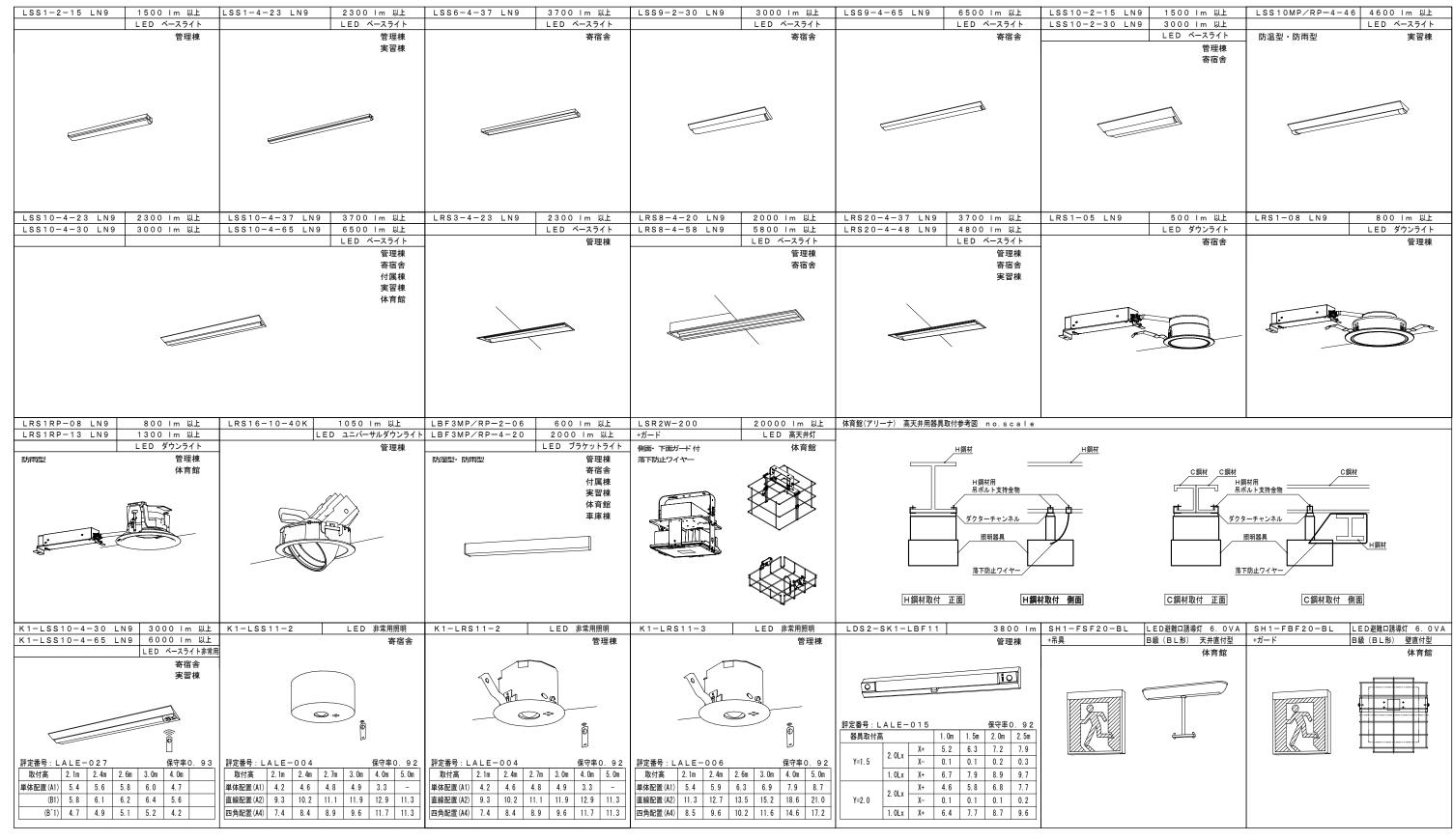
との取り合い

すること。

③16 その他及び電子納品

③) その他

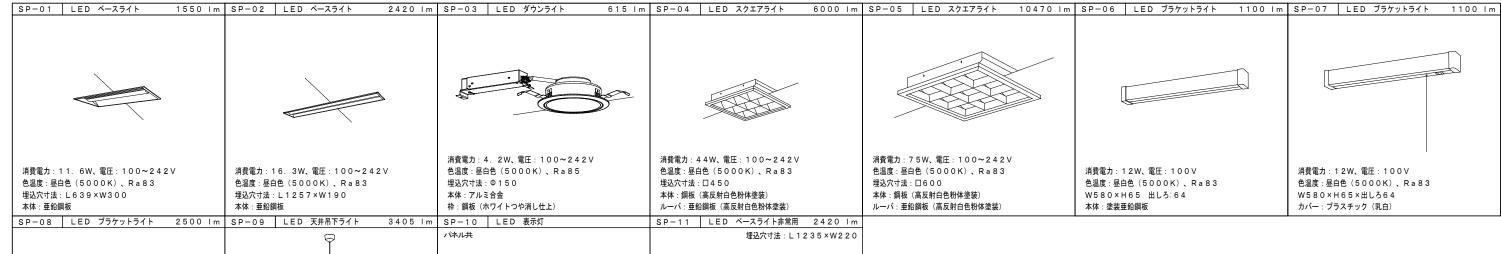




- 注 記
- 1. LED照明器具は(一社)日本照明工業会ガイドA138に基づく自己適合宣言書を提示できる製造者の製品とする。
- 2. 照明器具(参考型番相当品)の定格消費電力はJIS С 8105-3:2011に規定する方法により測定算出した値を建築物省エネ計算に用いる。
- 3. ISO9001:2008, JIS Q 9001:2008に基づく品質管理体制を行い、製品を供給行う製造者の製品とする。

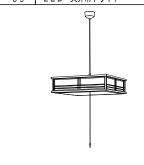
● 長野県上松技術専門校	- 特	訂正 1. 2	名 第272762号 野坂 英史	1 級建築士事務所登録(松本)B第 8129	ノリティーズデザイン □ 号	上松	技術専門校電灯影	设備改修工事
	- -	3. 設計 4. 氏	者	管理建築士 1級建築士登録 第265244号 〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-1 承 認 設計体制及び検査 検査員 責任者 担当者	須田 潔 0 TEL 0263(88)7348 設計完了日	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	照明器具姿図(1)【	【改修後】
	- - -	5. 6. 万. 英計	者名	野坂 佐藤 須田 波多腰	2025. 3	^{総尺} A1: N/S A3: N/S	S25004D	E-03





消費電力:23W、電圧:100V 色温度:昼白色(5000K)、Ra83

W1260×H100 出しろ:93



消費電力: 28. 1W、電圧: 100V

寸法: □491×H127

色温度: 昼白色(6200K)、Ra83

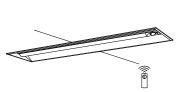


消費電力:5W、電圧:100V

色温度: 昼白色 (5000K)、Ra75

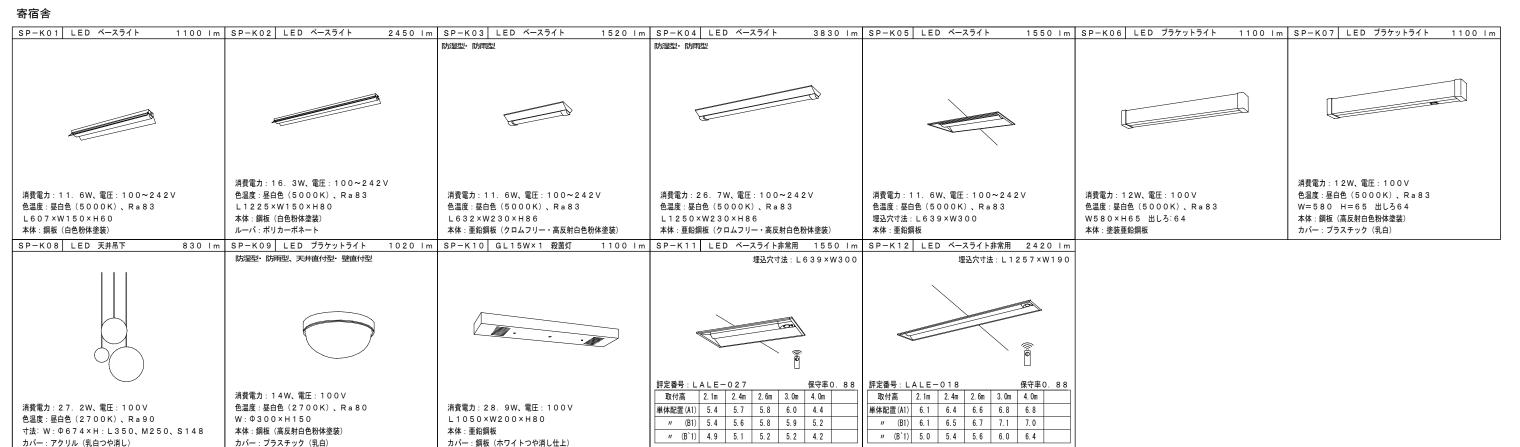
枠:鋼板(クールホワイトつや消し仕上)

埋込穴幅128、埋込穴長368、埋込高42



評定番	号:L		保守率(0.88			
取付	高	2. 1m	2. 4m	2. 6m	3. Om	4. Om	
単体配	置(A1)	5. 4	5. 7	5. 9	6. 1	4. 5	
"	(B1)	5. 2	5. 6	5. 8	6. 1	5. 5	
"	(B`1)	4. 7	4. 9	5. 1	5. 1	4. 2	

カバー:アクリル(乳白)



注 訴

- 1. LED照明器具は(一社)日本照明工業会ガイドA138に基づく自己適合宣言書を提示できる製造者の製品とする。
- 2. 照明器具(参考型番相当品)の定格消費電力はJIS C 8105-3:2011に規定する方法により測定算出した値を建築物省エネ計算に用いる。
- 3. ISO9001:2008, JIS Q 9001:2008に基づく品質管理体制を行い、製品を供給行う製造者の製品とする。

● 長野県上松技術専	門校
------------	----

ITE.	設計者	1級建築士登録
	氏 名	
2.	-	
3.	設計者	
4.	氏 名	
5.		
	設計者	
7.	氏 名	

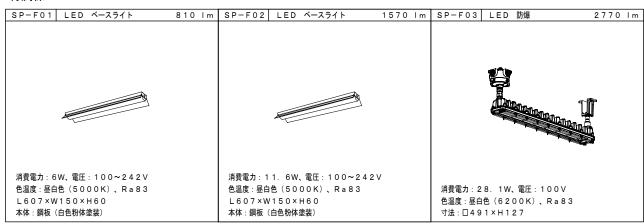
設計者 氏 名	1 級建築士登録 第272762号 野坂 英史	1 級建算	表士事務所	登録(松本	x) B第81:	291 号	ィーズデザイン	工事名		上	.松打
設計者 氏 名		管理建 〒390-0 承 認	1842 長野	県松本市 設計体制	及び検査	-10 TEL	263 (88) 7348 設計完了日	図面名			照
設計者 氏 名		野坂	佐藤	須田	波多腰	担当者	2025. 3	総尺	A1: A3:	N/S N/S	
氏名		21.00	12.04	Ж ш	11X 7 11X				A3:	N/S	_

上松技術専門校電灯設備改修工事 照明器具姿図(2)【改修後】

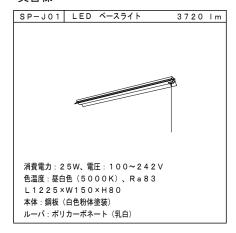
照明器具姿図(2)【改修後】

S25004D BB番号 E-04

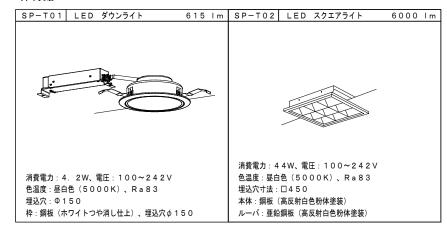
付属棟



実習棟



体育館



注言

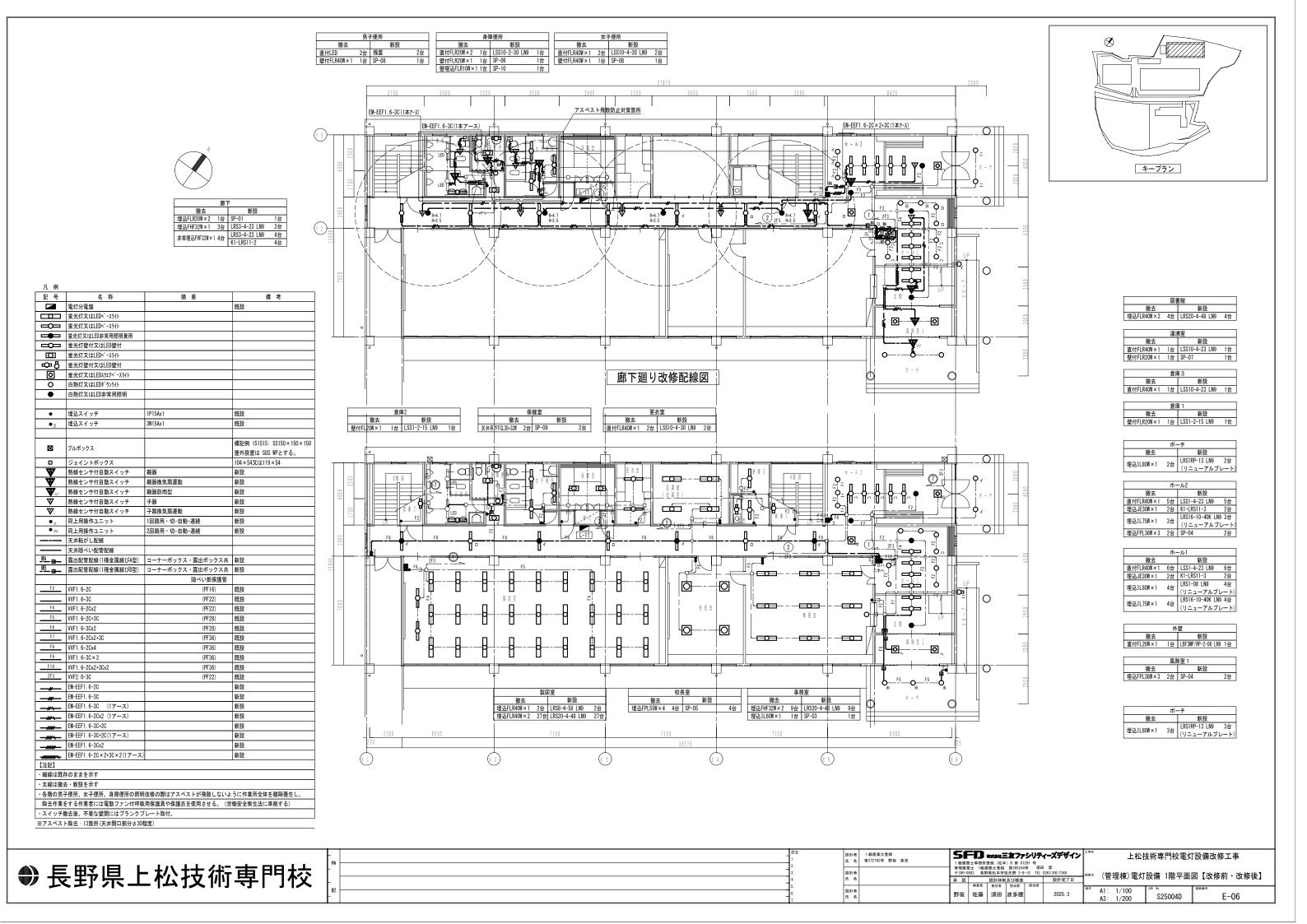
- 1. LED照明器具は(一社)日本照明工業会ガイドA138に基づく自己適合宣言書を提示できる製造者の製品とする。
- 2. 照明器具(参考型番相当品)の定格消費電力はJIS C 8105-3:2011に規定する方法により測定算出した値を建築物省エネ計算に用いる。
- 3. ISO9001:2008, JIS Q 9001:2008に基づく品質管理体制を行い、製品を供給行う製造者の製品とする。

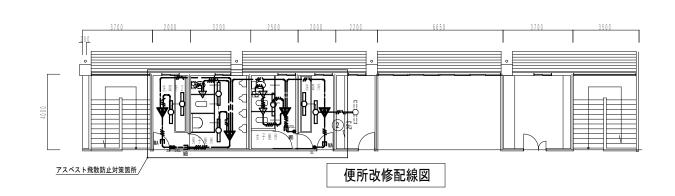
車庫棟

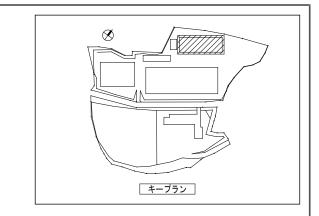


● 長野県上松技術専門校

設計者 氏 名	1 級建築士登録 第272762号 野坂 英史	□ ■ □ ■ 株式会社三及ファシリティーステサイン 1 級建築士事務所登録(松本) B 第 81291 号					工事名		上松	技術専門校電灯	「設備改 [。]	修工事	
設計者 氏 名			承 認 設計体制及び検査 設計完了日			図面名		照	明器具姿図(3)	【改修征	发 】		
設計者 氏 名		野坂	佐藤	須田	波多腰	担当者	2025. 3	総尺	A1: A3:	N/S N/S	JOB No. S25004D	図面番号	E-05

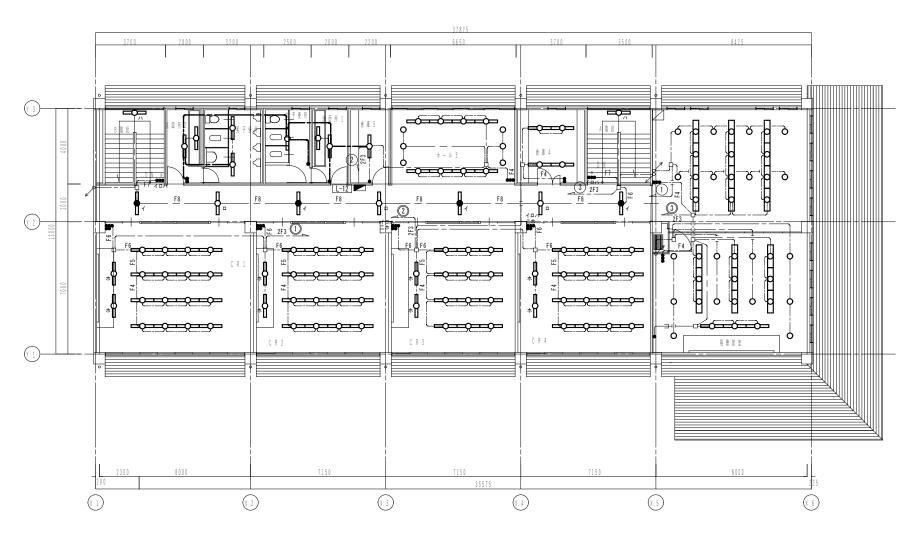










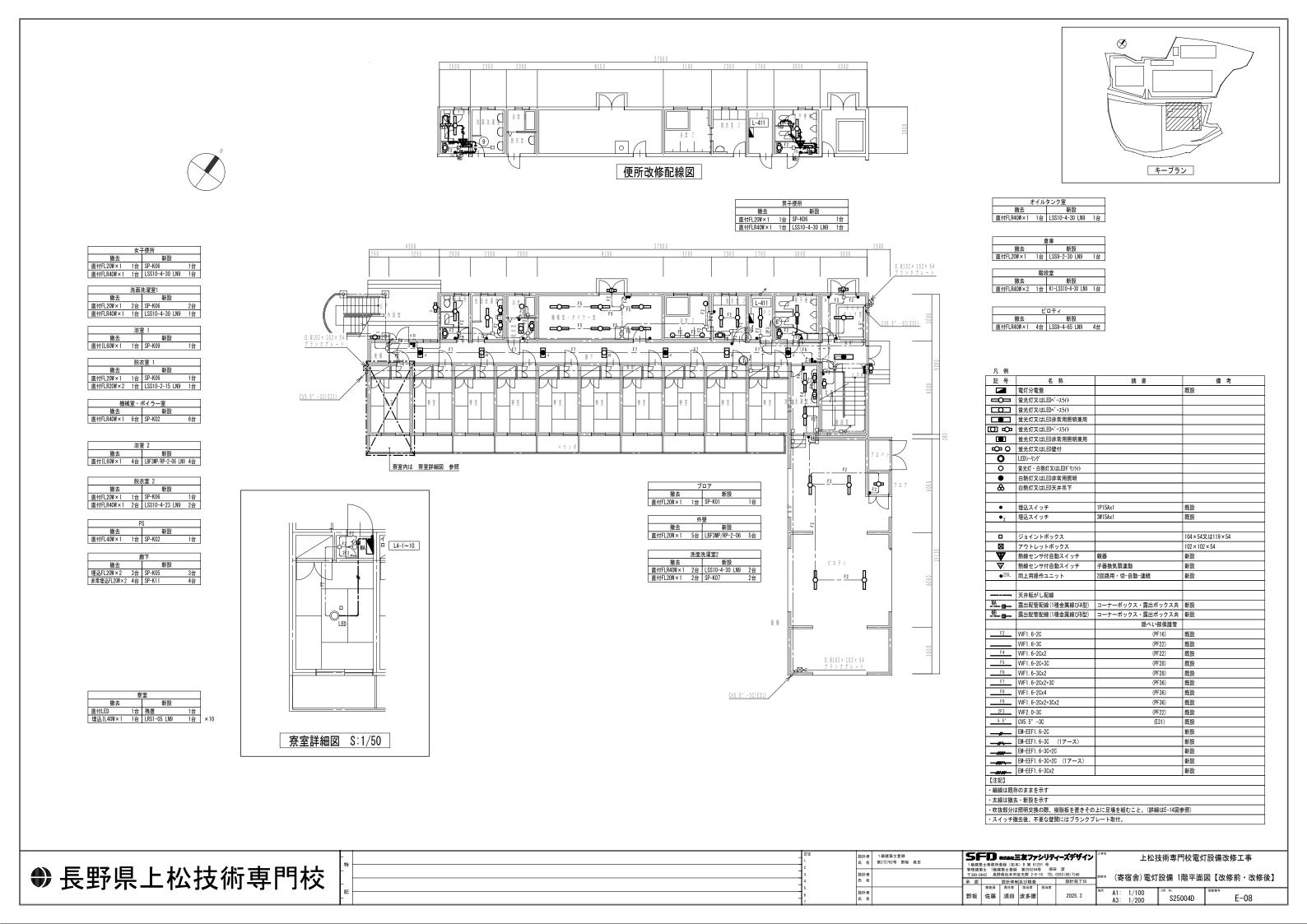


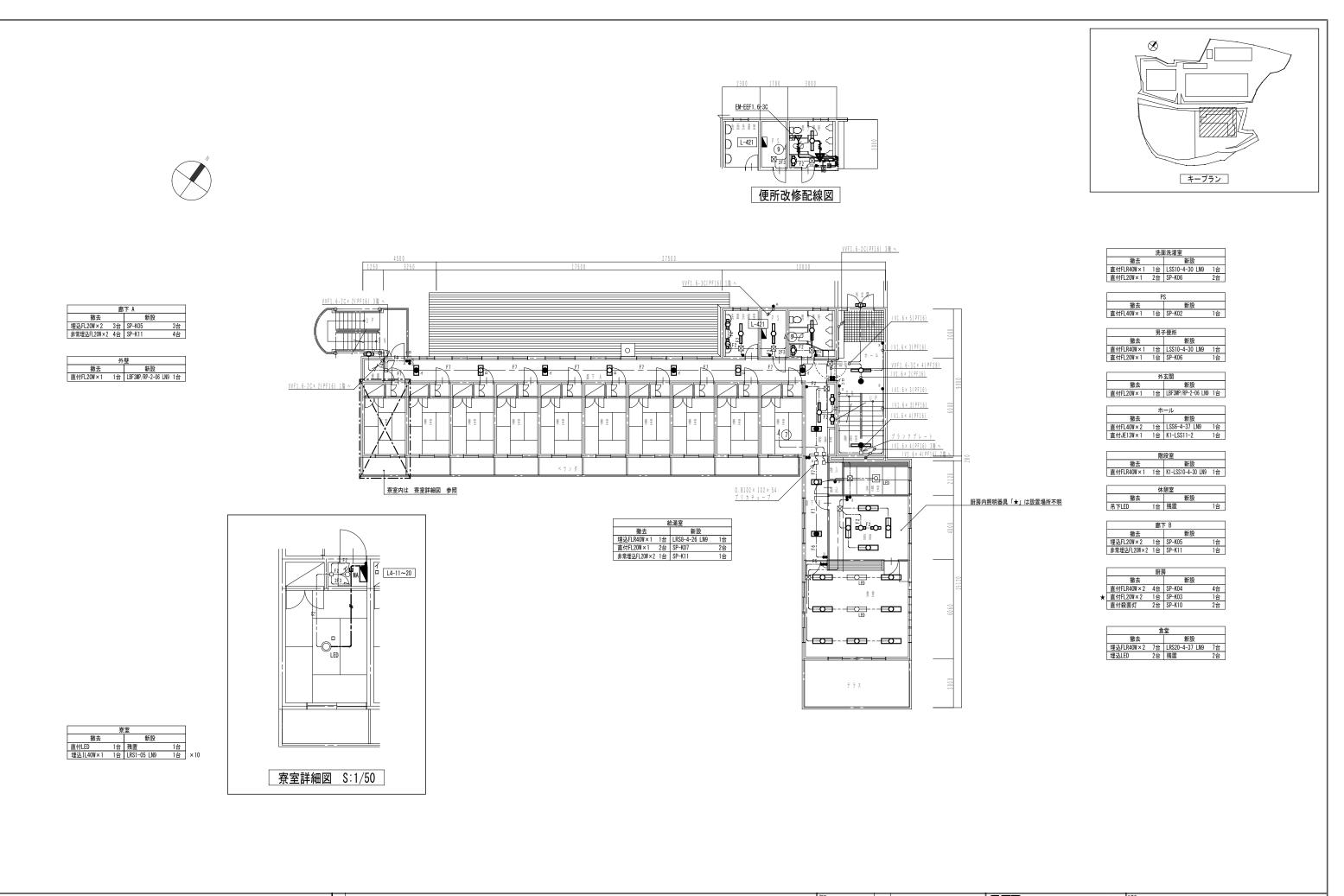
	th.en
	階段
撤去	新設
壁付FLR40W×1 1台	LDS2-SK1-LBF11 LN9 1
BI	階段
<u></u> 撤去	新設
壁付FLR40W×1 1台	LDS2-SK1-LBF11 LN9 1
<u> </u>	
廊	
撤去	新設
埋込FHF32W×1 3台	LRS3-4-23 LN9 3
非常埋込FHF32W×1 4台	SP-11 4
C	R 1
撤去	新設
埋込FLR40W×1 2台	LRS8-4-20 LN9 2
埋込FLR40W×1-4連 4台	SP-02 4連 4
	R 2
	新設
撤去	
埋込FLR40W×1 2台	LRS8-4-20 LN9 2
埋込FLR40W×1-4連 4台	SP-02 4連 4
	D.0
撤去	R 3 新設
	LRS8-4-20 LN9 2
埋込FLR40W×1-3連 4台	LRS3-4-23-LN9-3連 4
C	R 4
撤去	新設
埋込FLR40W×1 2台	LRS8-4-20 LN9 2
埋込FLR40W×1-4連 4台	SP-02 4連 4
	庫4
撤去	新設
	SP-02 4
埋込FLR40W×1 4台	SP-02 4 聴覚室
埋込FLR40W×1 4台	
埋込FLR40W×1 4台 視 撤去	聴覚室 新設
埋込FLR40W×1 4台 視 撤去 埋込FHF32W×2-3連 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3
埋込FLR40W×1 4台 規 搬去 埋込FHF32W×2-3連 3台 埋込FHF32W×2-4連 3台	聴覚室 新設
埋込FLR40W×1 4台 視 撤去 埋込FHF32W×2-3連 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1
埋込FLR40W×1 4台 規 搬去 埋込FHF32W×2-3連 3台 埋込FHF32W×2-4連 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3
世込FLR40W×1 4台 規 撤去 埋込FHF32W×2-3連 3台 埋込FHF32W×2-4連 3台 埋込IL80W×1 18台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルプレー
理込FLR40W×1 4台 機 機去 理込FHF32W×2-3連 3台 理込FL80W×1 18台 埋込FHF32W×1 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3
理込FLR40W×1 4台 機去 埋込FHF32W×2-3連 3台 埋込FHF32W×2-4連 3台 埋込FHF32W×1 8台 埋込FHF32W×1 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルブレー LRS8-4-20 LN9 3 庫 5 新設
理込FLR40W×1 4台 機 機去 理込FHF32W×2-3連 3台 理込FL80W×1 18台 埋込FHF32W×1 3台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3
埋込FLR40W×1 4台 模様 横表 埋込FIF32W×2-3連 3台 埋込LL80W×1 18台 埋込FIF32W×1 3台 電荷FLR40W×1 1台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (ソニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3 庫 5 新設 LSS10-4-23 LN9 1
理込FLR40W×1 4台 機 機去 理込FHF32W×2-3連 3台 理込LH80W×1 18台 理込FHF32W×1 3台 加 相位 推去 1台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3 庫 5 新設 LSS10-4-23 LN9 1
理込FLR40W×1 4台	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 (リニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3 庫5 新設 LSS10-4-23 LN9 1
埋込FLR40W×1 4台 視機 横去 埋込FHF32W×2-3連 3台 埋込FHF32W×2-4連 3台 埋込FHF32W×1 3台 電が 3台 地去 面付FLR40W×1 1台 ホホ	聴覚室 新設 LRS20-4-48-LN9-3連 3 LRS20-4-48-LN9-4連 3 LRS1-08 LN9 1 (リニューアルプレー LRS8-4-20 LN9 3 庫 5 新設 LSS10-4-23 LN9 1

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏 名	1 級建築士登録 第272762号 野坂 英史	1級建算	士事務所	登録(松本) B第81	291号	ィーズデザイン	工事名		
設計者 氏 名		管理建第 〒390-0 承 認	842 長野	県松本市1 設計体制	及び検査	-10 TEL	0262 (00) 7240	図面名	(管	理
設計者 氏 名		野坂	佐藤	須田	波多腰	担当者	2025. 3	総尺	A1: A3:	1,

1: 1/100 S25004D E-07





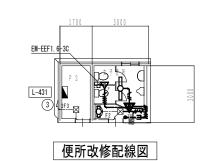
● 長野県上松技術専門校

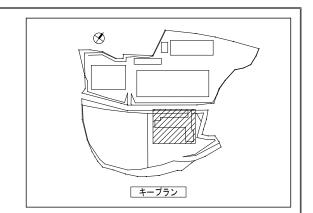
	1.	氏 名	第272762号
	2.		
	3.	設計者	
	4.	氏 名	
_	5.		
	6.	設計者	
-	7	氏 名	

5斤刀 ****三友ファシリティーズデザイン 1 級建築士事務所登録 (松本) B 第 81291 号 管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔 〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263 (8

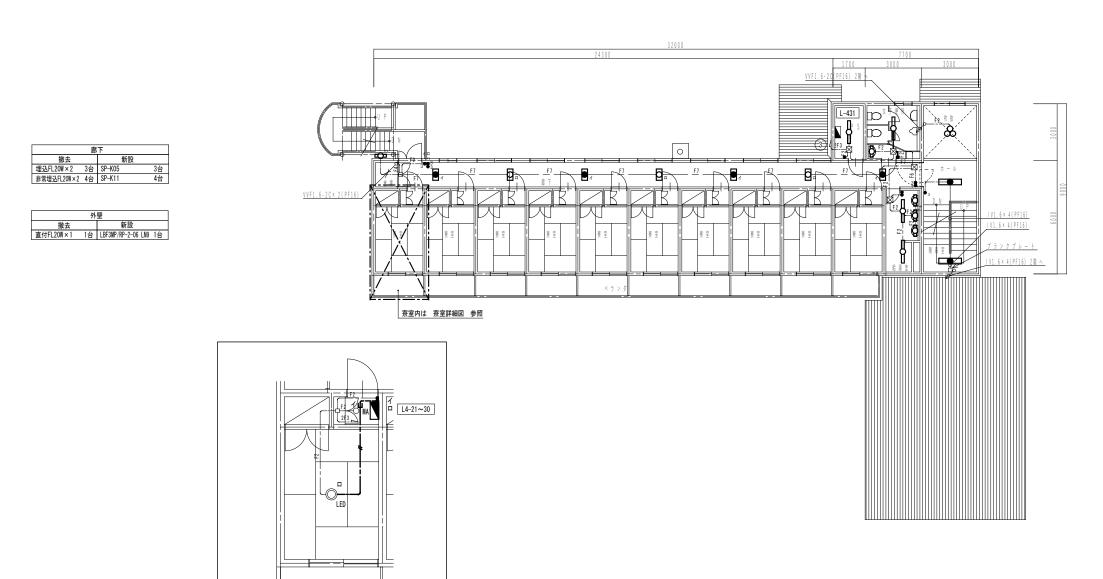
上松技術専門校電灯設備改修工事

(寄宿舎)電灯設備 2階平面図【改修前・改修後】 野坂 佐藤 須田 波多腰 S25004D









	P)	7抜	
撤去		新設	
吊下IL60W×3	1台	SP-K08	1台
	P.	S	
撤去		新設	
直付FL40W×1	1台	SP-K02	1台
	女子	- 便所	
撤去		新設	
直付FRL40W×1	1台	LSS10-4-30 LN9	1台
直付FL20W×1	1台	SP-K06	1台
	7	トール	
撤去		新設	
埋込FL40W×2	1台	SP-K12	1台
	ß	皆段室	
撤去		新設	
埋込FLR40W×2	1台	SP-K12	1台
	給	湯室	
撤去		新設	
直付FL20W×1	3台	SP-K07	3台
直 li l L L Z U II へ l			

 療室

 撤去
 新股

 直付LED
 1台

 建込IL40W×1
 1台

 LRS1-05 LN9
 1台

 ×10

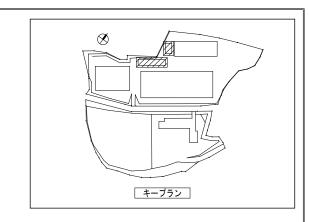
核

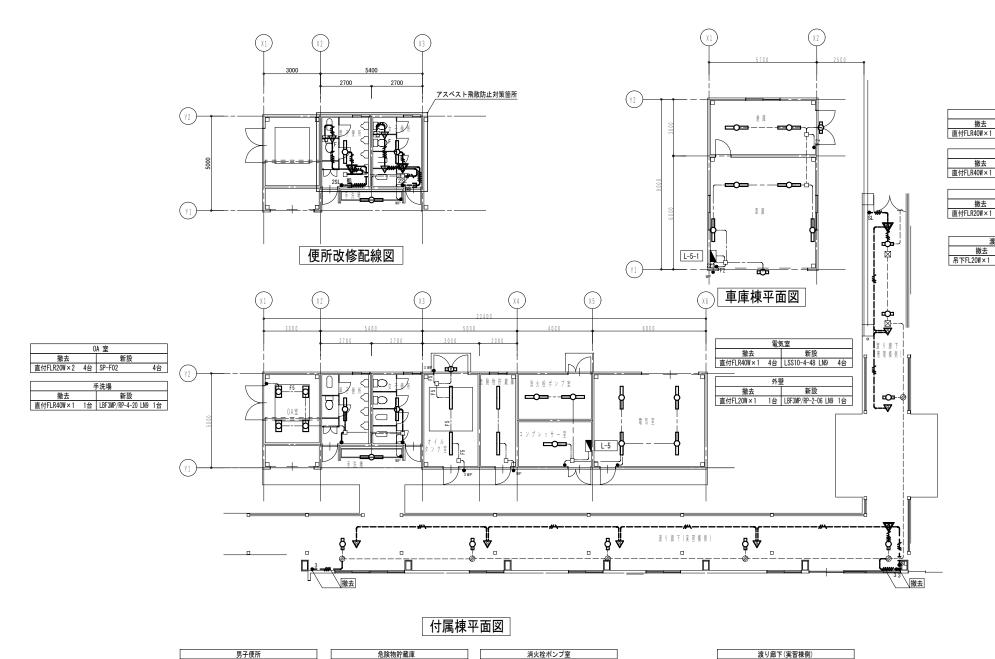
寮室詳細図 S:1/50

_			
			打正
	#±		1.
ı	11		2.
			3.
	_		4.
	*2		5.
	nL	_	6.
			7.

音名	1 級建築士登録 第272762号 野坂 英史	1級建算	生事務所:	登録(松本	D 第 81	291 号	ィーズデザイン	工事名	上松技	支術専門校電灯	「設備改修工事
音名		管理經 〒390-0 承 認	842 長野	県松本市 設計体制	及び検査	-10 TEL	深 0263 (88) 7348 設計完了日	図数名	(寄宿舎)電灯	設備 3階平面[図【改修前・改修後】
音名		野坂	佐藤	須田	波多腰	担当者	2025. 3	総尺	A1: 1/100 A3: 1/200	S25004D	E-10





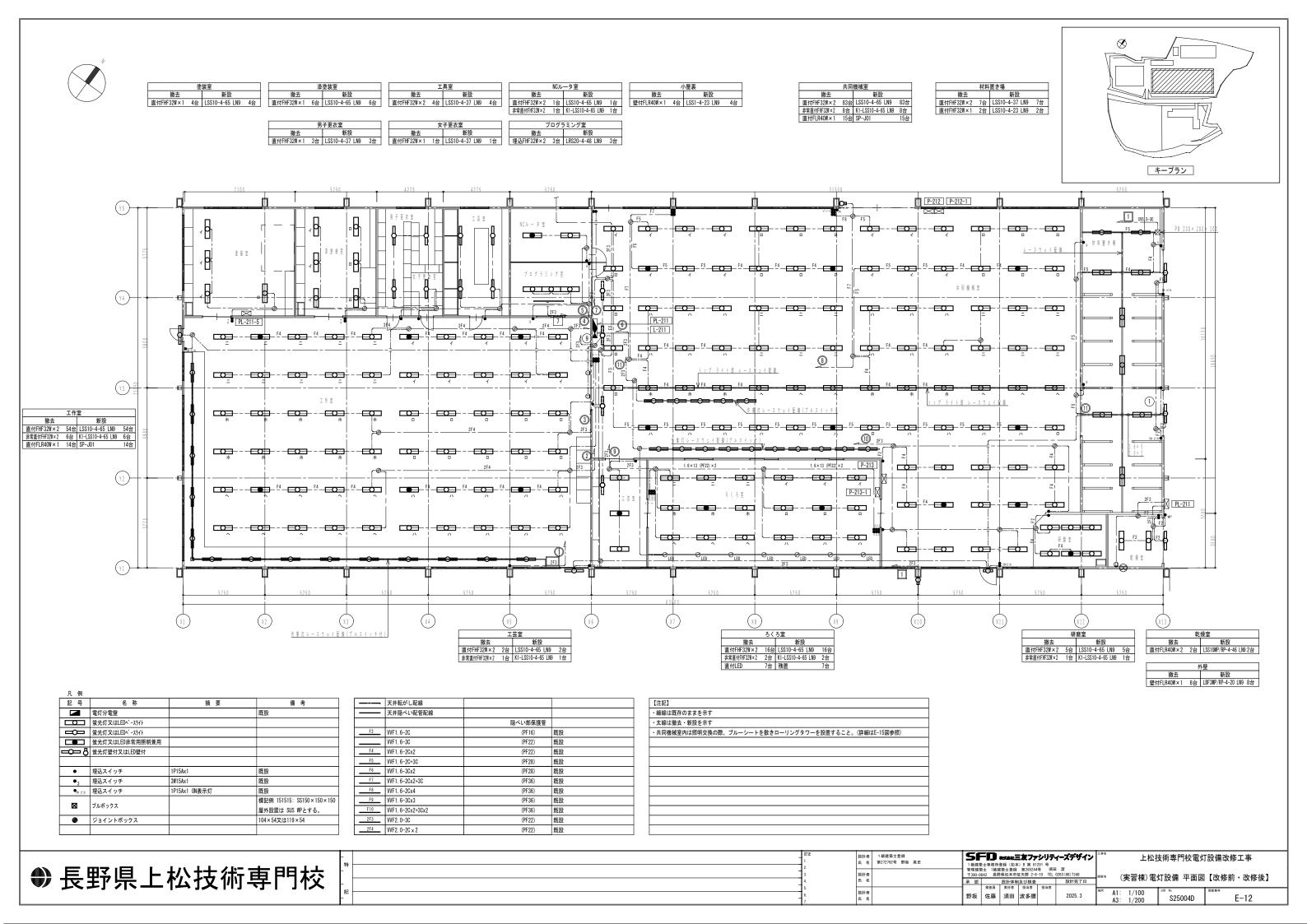


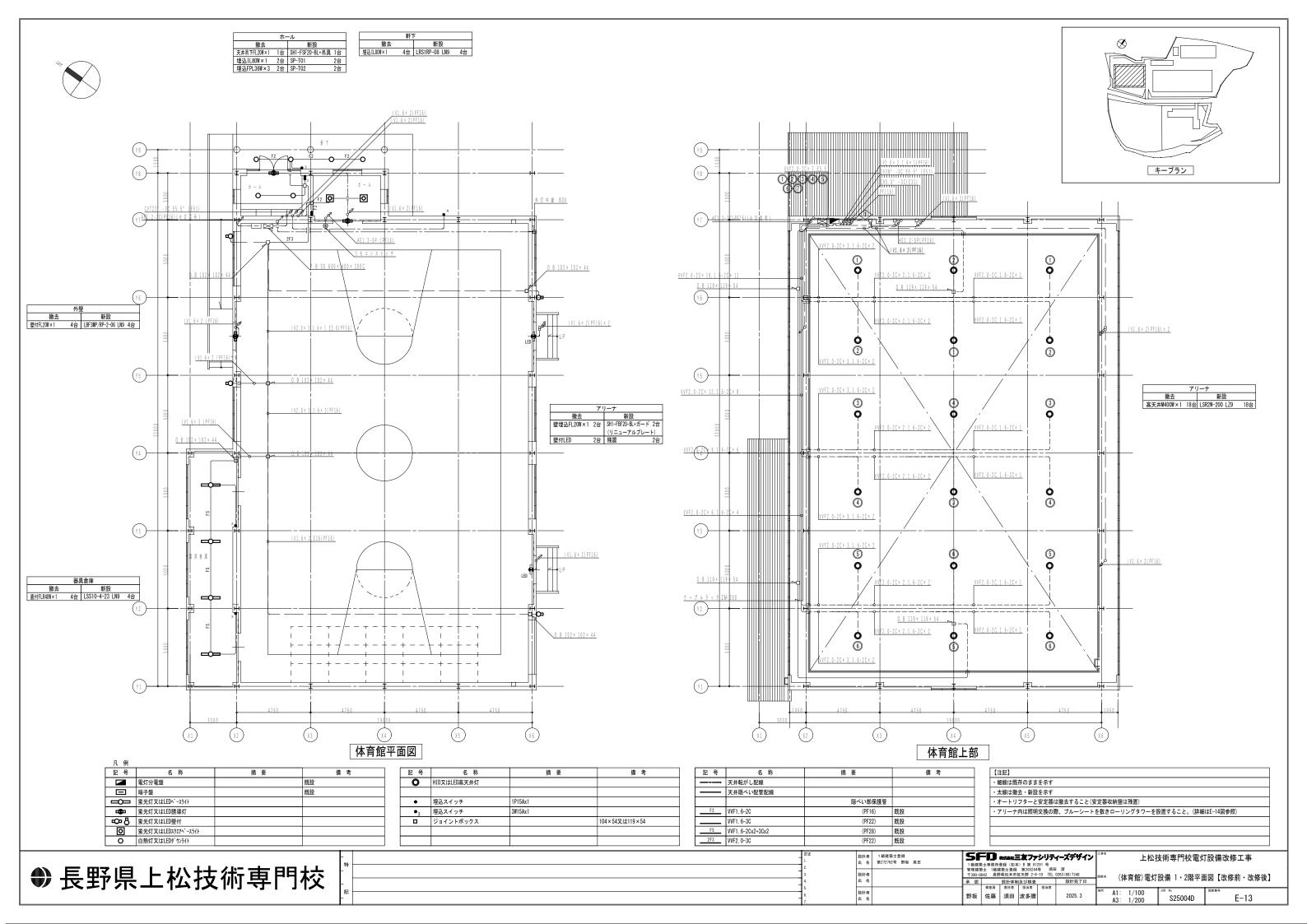
記号	名 称	摘要	備考
4	電灯分電盤		既設
	蛍光灯防爆又はLED防爆		
8	蛍光灯又はLED^゚ースライト		
8	蛍光灯壁付又はLED壁付		
В	蛍光灯壁付又はLED壁付		
<u> </u>	蛍光灯又はLED^゚-スライト		
•	埋込スイッチ	1P15Ax1	既設
	埋込スイッチ	3W15Ax1	既設
•3	理点へイック	SHIJAXI	Max
4	熱線センサ付自動スイッチ	親器	新設
₩.	熱線センサ付自動スイッチ	子機 広角検知型	新設
₩ F	熱線センサ付自動スイッチ	子器換気扇運動	新設
• _{SL}	同上用操作ユニット	1回路用・切-自動-連続	新設
● _{2SL}	同上用操作ユニット	2回路用・切-自動-連続	新設
×	プルボックス		標記例 151515: SS150×150×150
	N ()		屋外設置は SUS WPとする。
Ø	ジョイントボックス		
	ジョイントボックス		104×54又は119×54
	天井転がし配線		
<u>MB</u> =	露出配管配線(1種金属線 UB型)	コーナーボックス・露出ボックス共	新設
	天井隠ぺい配管配線	隠ぺい部保護管 露出部保護管	
F2	VVF1. 6-20	(PF16)	既設
	VVF1. 6-30	(PF22) (E25)	既設
F4	VVF1. 6-20x2	(PF22)	既設
F5	VVF1. 6-2C+3C	(PF28)	既設
F6	VVF1. 6-30x2	(PF28)	既設
F7	VVF1. 6-20x2+30	(PF36)	既設
F8	VVF1. 6-20x4	(PF36)	既設
F9	VVF1. 6-30x3	(PF36)	既設
2F3	VVF2. 0-30	(PF22)	既設
	EM-EEF1. 6-3C	(G22)	新設
	EM-EEF1.6-3C (1アース)	(G22)	新設
	EM-EEF1. 6-3C+2C		新設
-///\	EM-EEF1.6-3C+2C (1アース)		新設
	EM-EEF1. 6-3C×2	(G22)	新設
【注記】			
・細線は既	存のままを示す		
・太線は新	設を示す		
・G管は溶融	!亜鉛めっき仕上げとする。		
OA室は照	明交換の際、樹脂板を置きその上に	足場を組むこと。(詳細はE-14図参照)	
・男子便所	、女子便所の照明改修の際はアスペ	《ストが飛散しないように作業所全体を	離隔養生し、

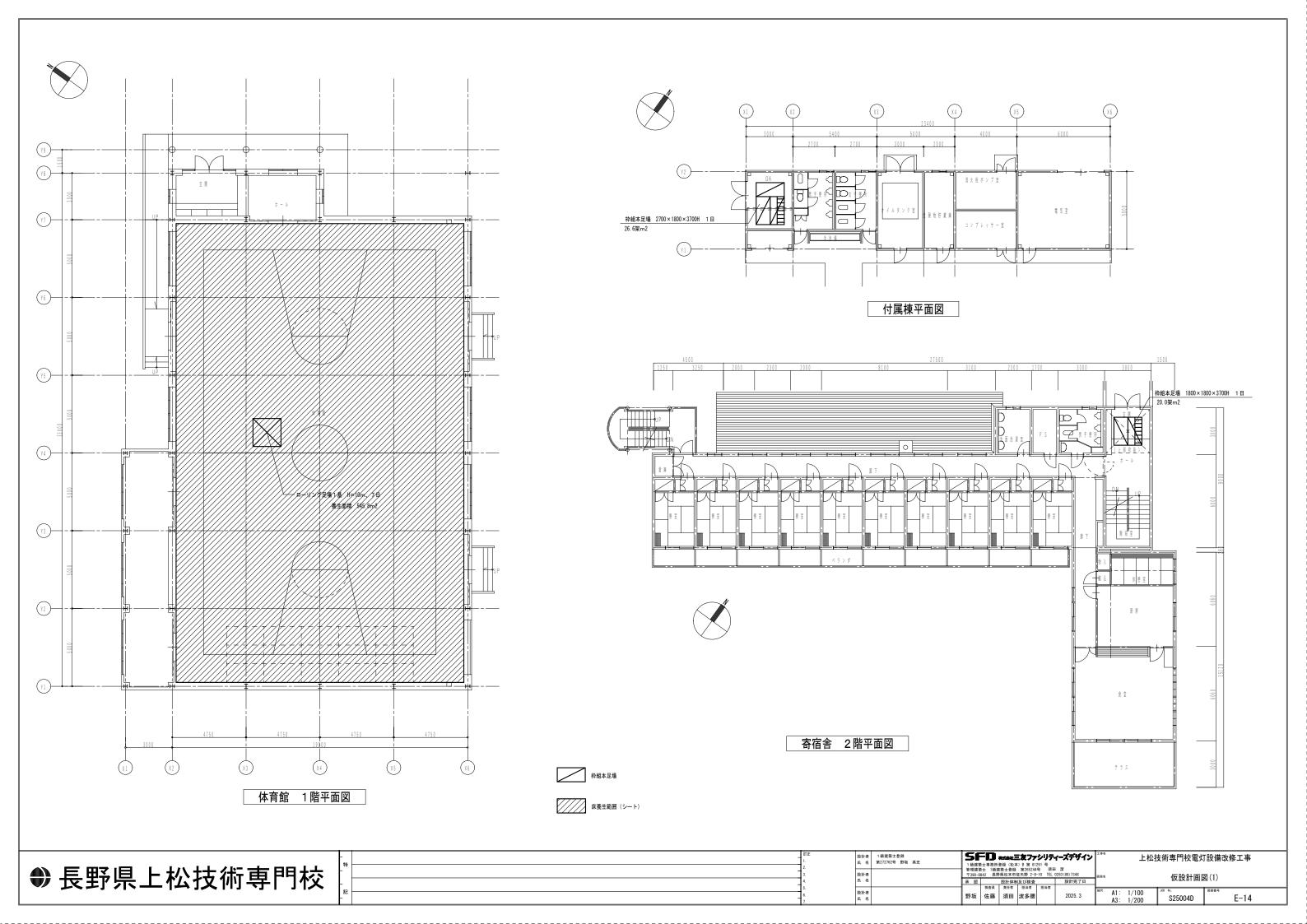
● 長野県上松技術専門校

計者 名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史	1級到	皇築士事務所	登録(松本	x) B第81	291号	ィーズデザイン	工事名	
計者					第265244 征矢野 2-8		0263 (88) 7348	図面名	1
も 名		承書			及び検査		設計完了日		
計者		82.15	検査員	責任者 2百円	担当者	担当者	2025 3	総尺	_

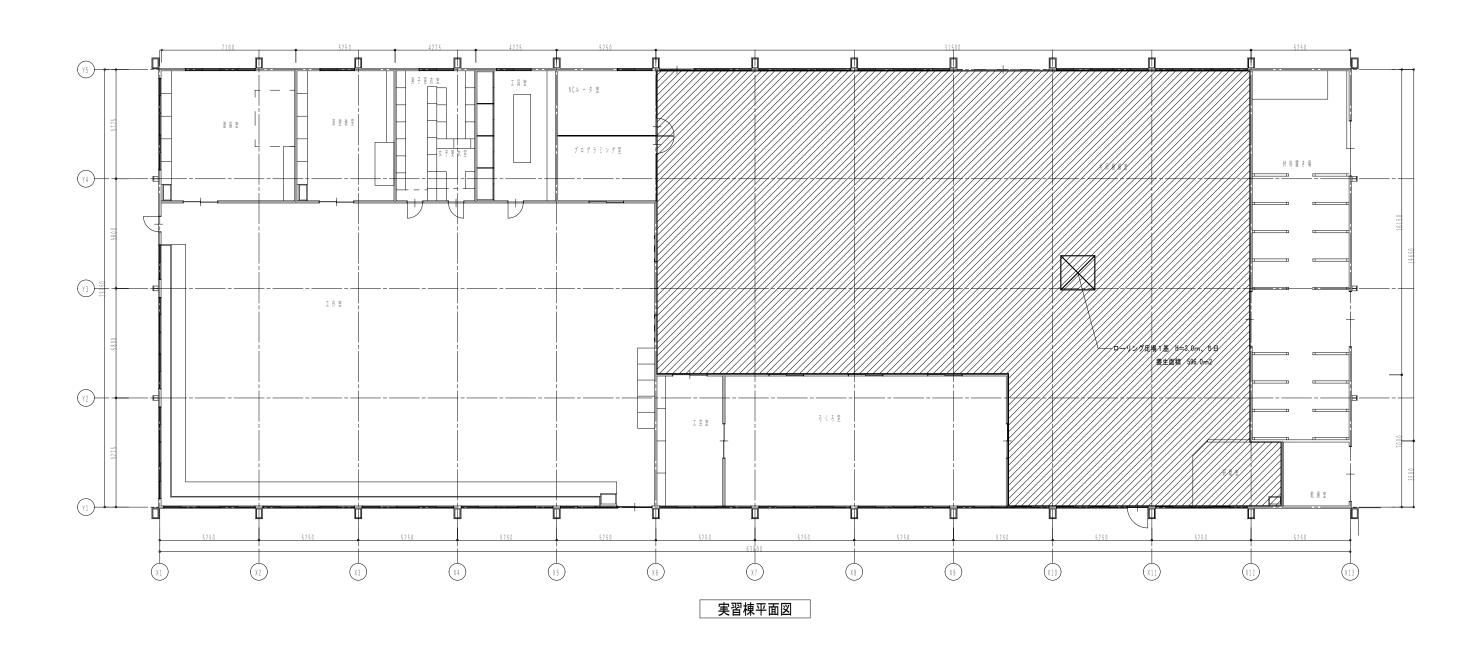
S25004D











床養生範囲 (シート)

	- 特	打正 1. 2.	氏 名 第2/2/62号 野坂 英史 1 級建築士事務所登録 (松本) B 第 81291 号		│ 【■■ ̄■】 株式会社二及 ノアンリテイ=人 ナサイン	上松技術専門校電灯設備改修工事	
● 長野県上松技術専門校		3.	設計者	仮設計画図(2)			
	- 5i -	5. 6. 7.	設計者 氏 名		教養員 責任者 担当者 野坂 佐藤 須田 波多腰 2025. 3	A1: 1/100 A3: 1/200 S25004D S25004D E-15	